

秋の年次公開検証
（「秋のレビュー」）の取りまとめ

～ KPIに対応する成果目標設定 ～

平成27年12月7日

河野臨時議員提出資料

KPIに対応する成果目標設定

取りまとめ

「医療保険給付費国庫負担金等」(厚生労働省所管事業)

「介護給付費負担金」(厚生労働省所管事業)

- ・ 社会保障制度の持続可能性を高めるためには、骨太 2015 で示された歳出改革を確実に進めることが重要であることを踏まえ、改革の具体的な取組・成果目標とその実施・達成時期や取組を推進するための具体的な手法を明確にした上で改革に取り組むべきである。また、その際には、保険者や地域差の視点も踏まえたデータ分析による「見える化」を行い、それを政策に反映するとともに、国民に提供される医療の質が低下しないよう留意すべきである。
- ・ 「経済・財政再生計画」に盛り込まれた改革工程表に基づき、成果目標の達成度を点検・評価する「KPI」と各府省が所管する個別事業の成果を数量的に把握・評価する「行政事業レビュー」とが「車の両輪」として機能していくことが肝要であることを踏まえ、以下の内容について適切に取り組むべきである。
 - ①KPIは、時間軸を明確にした上で、定量的かつ具体的で、改革推進の観点から意欲的なものを設定すべきである。また、行政事業レビューや政策評価との関係を含め、目標達成に向けた政策体系図を整理すべきである。
 - ②KPIとの連動性が高い行政事業レビューシートにおける成果目標の設定に当たっては、ロジックモデルを活用するなどして、KPIとの関連を明らかにすべきである。
 - ③KPIとの関連を明確に記述する観点から、レビューシートの記載事項の見直しを検討すべきである。